

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	子どもサイエンスフェスティバル 海老名大会				
題名・副題	発電と電池の体験デモンストレーション				
月日・時間	2018年11月24日(土) 10:00~15:00				
開催場所	えびな市民活動センター ビナレッジ交流館				
部会・講師名	エネルギー部会 鈴木勝男	参加者数	200名	講師数	7名
写真					
	手回し発電機で電球を点ける	手のひらびっくり発電			
					
	備長炭電池を作る	水素燃料電池の実験			
成果解説	<p>当会からは手回し発電や備長炭電池など4つのサイエンスを出展しました。当日は好天に恵まれたこともあり、開催時間を通して来場者が多く、当会ブースも約200名の子どもたちで賑わいました。</p> <p>①「手回し発電機で電球つくかな」では、自分の力で白熱電球とLED電球をそれぞれ点灯させることにより、消費電力の違いを体感してもらいました。</p> <p>②「手のひらびっくり発電」では、ゼーパック素子に手のひらを乗せるだけでプロペラが回りだす様子を見て、子どもたちは驚きました。(ゼーパック素子：二種類の異なる半導体の両端を接続し、その両端に温度差があると起電力が発生する現象を応用した電子部品)</p> <p>③「炭の電池とレモンの電池」を作る体験をしました。特に備長炭電池では、オルゴールを鳴らしたり、LED電球を点灯したり、色々なことが出来たので子どもたちは大いに喜んでいました。</p> <p>④「水素燃料電池」の実験セットを使って、水を電気分解して水素を作り、水素を燃料にしてモーターでプロペラを回す実演をしました。</p>				